

公衆衛生学

[講義] 第2学年 前期 自由選択 2単位

《担当者名》○米田龍大 ryu-yone@hoku-i-ryo-u.ac.jp 志渡晃一

【概要】

公衆衛生の原義は「すべての人の生命と生活を守る」ことである。この科目では、「生活の中で健康をどう考えたらよいか」について広範囲に探求する。本講義では、公衆衛生の視点を獲得し、視野を広めることを目的として以下の項目について理解を深める。

1. 公衆衛生の目的・課題
2. 公衆衛生の実践活動
3. 公衆衛生を支える科学、技術

【学修目標】

本講義では、公衆衛生の視点を獲得し、視野を広めることを目的として、以下の項目について理解を深める。

1. 公衆衛生の目的・課題
2. 公衆衛生の実践活動
3. 公衆衛生を支える科学、技術

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス 公衆衛生概論	講師の自己紹介 講義の進め方 世界の健康課題（平均寿命）	志渡晃一
2	公衆衛生概論	世界の健康課題 環境衛生活動 保健医療福祉による国際貢献（チェルノブイリ）	志渡晃一
3	公衆衛生概論	平和、公衆衛生と戦争（アウシュビッツ）	志渡晃一
4	公衆衛生概論	ユニセフ活動 疾病予防活動（きれいな水） SDGs	志渡晃一
5	予防医学	感染症	志渡晃一
6	予防医学	生活習慣病	志渡晃一
7	予防医学	ライフスタイルと健康 笑いの効用	志渡晃一
8	疫学	疫学概論	米田龍大
9	疫学	記述疫学と分析疫学	米田龍大
10	健康科学	精神保健	米田龍大
11	健康科学	環境衛生	米田龍大
12	社会医学	医療訴訟の現状と課題	米田龍大
13	社会医学	健康の社会的決定要因	米田龍大
14	社会医学	ソーシャルキャピタル	米田龍大
15	総括	これまでの講義を基に、公衆衛生の視点について総括	米田龍大

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

筆記試験100%

【教科書】

シンプル衛生公衆衛生学 南江堂

【参考書】

国民衛生の動向 厚生統計協会

【備考】

講義で使用する教科書「シンプル衛生公衆衛生学（南江堂）」は、毎年最新版が出版されるため、受講年度に合わせ最新版を購入すること。

【学修の準備】

教科書、参考書に一通り目を通して、公衆衛生学の守備範囲を確認すること。その上で、知識の習得よりむしろ概念の理解に向けて120分程度予習し準備すること。受講後は自分なりに理解できるまで復習（120分程度）すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP4）リハビリテーション専門職として、地域および国際的な視野でリハビリテーションの発展に貢献する能力を身につけている。